

DO YOUR BEST



NO. 201

2020.1発行

一般社団法人
福島県介護福祉士会
文責 小山田 米子

介護福祉士

謹賀新年

『新春のお慶びを申し上げます。』



謹んで年頭のご祝詞を申し上げます。

令和元年は災害の多い年でした。台風19号の災害に遭遇された会員の皆様にお見舞い申し上げます。日常生活に笑顔が取り戻せるよう祈願致します。

今年の干支はねずみです。ねずみは、「かき集める」と言われています。私達は「福」をかき集めるような努力を心がけをしてはどうでしょうか。

また、今年は全国大会開催の年です。全会員の皆様のご支援とご協力を頂き成功したい所存であります。よろしくお世話になります。

会員の皆様の本年ますますのご健勝とご活躍をお祈りし、挨拶に代えさせていただきます。

会長 小山田 米子

公益社団法人 日本介護福祉士会 第26回全国大会/第17回日本介護学会 in いしかわに参加して

実行委員長 松本 利一

令和二年、福島県で開催されます第27回全国大会並びに第18回日本介護学会開催に向けての準備として、

令和元年11月15日、16日に石川県で開催されました第26回全国大会及び第17回日本介護学会に、全国大会実行委員会メンバー、会員の皆様とともに参加をしてきました。

今年は、「令和元年 今こそ介護の魅力を」～新しい時代、更なる発展～というテーマで開催され、全国より約950名の方が参加されました。

1日目は、福祉人材確保対策の現状についての行政説明や、やる気をつくるリーダーシップのための考え方、実践の仕方の講演、シンポジウムでは、介護福祉士の未来を語るをテーマに意見を述べ、参加者と討論が行われ

れ、2日目は3分科会に分かれ、各会場では日頃の研究成果の発表が行われ、活発な質疑応答が繰り広げられました。

福島県では、理事をメンバーとした実行委員会、各委員会での運営委員会を立ち上げ、各総務部会、広報・総務部会、式典・懇親部会、会場・行事部会にて班編成をし、確認事項を決め、部会ごとに様々なことを確認してまいりました。今回確認できたことを元に、検討すべきこと、実施すべきことなどが少しずつではありますが見えてまい

りましたので、今回得たことなどを参考にし、来年の全国大会、介護学会に向けて検討していきたいと考えます。

次回はいよいよ福島県です。第28回全国大会、第17回日本介護学会が無事開催できますように皆様のご協力、多数のご参加をお願いし、実行委員会を代表して、ご挨拶に代えさせていただきます。

〒963-0108 福島県郡山市笹川一丁目184-29 クレストハイツ184 102号室

FAX 024-943-1848 E-Mail jaccw_fukushima@ybb.ne.jp

ホームページ <http://www7b.ne.jp/~jaccw-fukushima/>



「福島県地域医療介護総合確保基金事業」
～介護人材キャリアアップ研修支援事業～

日時： 令和2年2月14日(金) 9時30分～16時30分
会場： 郡山中央公民館
対象： 100名(介護福祉士・養成校学生・介護に関わる職種)
参加費： 無料
内容： 講演「介護福祉士に求められる介護福祉士像」
日本介護福祉士会 会長 石本 淳也氏
講演「気づきと意欲を引き出すスーパービジョン」
福島県社会福祉士会 会長 松本 喜一氏

福祉人材確保推進プロジェクト事業
「令和元年度 介護に関する入門的研修」

日時： 令和2年2月1日(土)2日(日) 15日(土)16日(日)
9時30分～16時30分
会場： 国際医療看護福祉大学校(郡山市)
対象者： 介護未経験者等
参加費： 無料(要申込み)
内容： 介護に関する基礎知識、介護の基本、
基本的な介護の方法、認知症の理解、障害の理解等

県中方部 研修

日時： 令和2年2月22日(土) 10時～12時30分
会場： 福島県介護福祉士会事務所(郡山市)
対象者： 介護福祉士会会員とその仲間たち
参加費： 無料
内容： お年寄りにも食べやすい料理
(調理実習を行います。)

「令和元年度 倫理・防災講演会」

日時： 令和2年3月1日(日) 10時～16時
会場： 福島県男女共生センター(二本松市)
対象者： 介護・医療・一般関係者
参加費： 2,000円
内容： 講演「介護労働とストレス」
～利用者本位のケアを実践するために～
講師 福島県社会福祉士会 会長 松本 喜一氏

心を癒す草木

朝日

夕日

♡ 冬の楽しい桧原湖のご紹介です ♡

11月より解禁となった、楽しみにしている人はさぞ多い桧原湖のワカサギ釣りです。
朝が早く朝が苦手という方にも是非見てもらいたいの、ボートで移動しているときの桧原湖と磐梯山をバックに映し出す朝日です。もやがかりとても幻想的で、とても感動できる景色でした。そして貸し小屋についたら本命のワカサギ釣り開始です。今回は職場仲間と7人で貸し小屋をレンタルしワカサギ釣りを楽しみました。はじめの時間は釣果が上がりませんでしたが、徐々に竿にあたりが増え、その日の私の釣果は80匹とまずまずな結果となりました。次回は200匹を超えられるようベンジしたいと思います!! そして帰りもボートで移動するのですが朝日とは違った、夕日の景色が観れて釣りの疲れを癒してくれました。日々疲れやストレスが溜まっている方も沢山いると思います。そんな時には楽しむことが1番、少人数、大人数で行ってもとても楽しめますので興味がある方は行ってみてはいかがでしょうか？
最後にインフルエンザやノロウイルスなどの感染症が流行る時期になってきました。皆様十分体調に気を付けて仕事をして下さい。

編集後記

令和の年が始まり8か月間、明るい話題もありましたが、台風19号による災害や消費税増税と、暗い話題もありました。皆様はどのような令和最初の年を過ごしましたか？来年は2020年、東京オリンピックが大きな話題になりそうですね。皆さん一人ひとりが楽しく、充実した年になる事を期待していまチュー♡(ねずみ年だけに・・・笑)



各方部の活動報告



県北方部 「負担の少ない介護方法と指導の手法」 研修会

福島県介護福祉士会県北方部として、10月19日に「介護老人保健施設にじのまち」にて「負担の少ない介護方法と指導の手法」というテーマでの研修会を開催しました。足や腰に負担のかかる動きが介護には数多くあります。長く介護を続けて行く為に、介護者と利用者様共に安楽に動作が行えるように、触れ方などの基本的な部分の復習や、立ち上がり・椅子などへの移乗を体験、実践を通して学びました。各現場で活躍している現任の方々が多く参加されていましたが、それでも体を動かすとなると思うようにいかない難しさを感じていました。しかしその中でも「〇〇な場合はどうすると良いですか」、「この移乗なら現場でも行えそうだ」と今後の対応へ活かそうとする姿勢がみられていました。今後も学びの多い研修を企画していきます。皆様のご参加をお待ちしています。



県北方部 佐藤 紘一



県北方部 「第4回ふくふくオレンジフェスタ」に参加して

令和元年9月21日(土)、福島市のMaxふくしま4階AOZ(アオウゼ)において、認知症啓発イベント

「第4回ふくふくオレンジフェスタ」が開催され、福島県介護福祉士会県北方部として参加しました。

今回は、体成分分析が行える「InBody」と「高齢者疑似体験」、血管年齢を測定のための3つを準備し、来場

された方々に体験していただきました。

InBody及び血管年齢測定は、来場された皆様に好評で、たくさんの方々に体験していただきました。体験された方の多くは、ご年配の方はもちろん、若い方や小学生くらいの子どもも体験に来ていただきました。

今回はブースを出して参加する団体が前回より少なかったのですが、「子育て応援イベント」と同時

開催だったので、若い方や子供に介護について知ってもらう機会になったのではと思っておりま

す。今後もこのような機会があれば参加して「介護福祉士会」の認知度を上げたい

と思います。

ふくふくオレンジフェスタ・であいふれあい交流会・再就職支援講習会



県北方部 島貫 圭介

12月19日、二本松男女共生センターにて、広報委員会によるであいふれあい交流会を実施し、15名が参加しました。皆で協力しながら、豚汁づくりとミニ門松づくりをしました。ミニ門松づくりは、材料集め(細竹)に苦戦しましたが何とか集まり、作成する事が出来ました。初心者の方もいれば経験者もいて、みんなで声を掛け合いながら各々納得いく門松を作成しました。とん汁作りは手際良く協力し合い、簡単に作る事が出来ました。家庭それぞれの作り方や材料など、話に花が咲きました。出来た豚汁やおにぎり・漬物を食しながら、日頃の仕事に対する思いなどを話し、充実した一日となりました。また、一つの目的に向かって、皆で協力していく事の大切さも、改めて感じる事が出来ました。

又、今回、であいふれあい講習会と併せて再就職支援講習会も開催しました。

講習会では、現在の現状の確認や介護の魅力の発信、自己研鑽に意欲の高い方には研修の案内などを行っております。

今後も現状を確認しながら、介護の魅力等を発信し、介護の仲間が増やせる関わりが出来たら良いと思います。





『 介護の日 記念フォーラム2019に参加して 』



11月30日（土）福島県男女共生センターにて福島県社会福祉協議会主催《介護の日 記念フォーラム2019 介護セミナー》が開催され、映画上映をはじめ介護相談、ハンドマッサージなど多くの方が参加されました。

映画は“ケアニン”に続く、命と希望の物語『ピア～まちをつなぐもの～』で、ピアとは“仲間”という意味。一番好きな場所で最期まで自分らしく生きたいと願う人達を支える医師や多くの専門職“仲間”の物語で医療や介護・福祉に携わる人以外にも在宅医療や他職種連携がわかりやすく描かれた物語でした。

また、上映中泣いてしまったという方も多く、来春には新たな物語も完成するとあってこちらも楽しみです。午後は介護福祉士会がハンドマッサージやお仕事相談、実技アドバイスを担当しました。ハンドマッサージには30名以上が参加され、実技アドバイスでは実際にベッドや車いすを使い移乗方法を確認するなど、たくさんの方で賑わいました。

防災委員 長坂 良子



『 倫理委員会より 』

88歳の父が自宅で転倒、右下肢骨折しました。本人は、認知症もあり、「骨折なんてしていないから大丈夫」と、骨折している状況を理解しておりません。持病（糖尿病、脳梗塞等）もあって、手術や入院時の環境の変化に耐えられるか等母と話し合い手術はしない事を選択しました。やはり、骨折したリスクは大きく、その後、褥瘡、脱水症、血糖値が異常に高くなり入院しました。その上、インフルエンザに罹患、体力もかなり低下し飲み込みも悪く食べ物を受け付けなくなりました。先生から「延命治療についてはどう考えていますか？ 経管栄養や胃ろうはどうしますか？」というお話がありました。父は元気な時から私達がい物に出かける時は「美味しいもの買ってきて」と口癖のように話しており、昔から食えることが好きで、その楽しみがなくなってしまうたら、たとえ胃ろうをして生きていても、父はうれしくないと思いました。食欲の低下も自然な流れで、胃ろうや経管栄養はやらずに、出来る範囲での点滴治療は行っていたさながら、最後は、痛みもなく自然な状態で迎えたいと先生には伝えました。骨折してから約7か月、家族に見守られながら眠るように穏やかに亡くなりました。これまでの決断が、私たち家族にとって正しかったのか分かりませんが、父の今までの生き方、考え方から学んだ選択です。新年を迎え、家族の皆さんが集まる機会に「エンディング」について、むしろ元気なうちに話してみたいはいかがでしょうか。

★★★ 広報誌200号発行記念 プレゼント企画 当選者発表 ★★★

来る令和元年12月19日、であいふれあい交流会の後、抽選会を行いました。応募総数64名の内、厳選なる抽選を行い31名の方が当選されました。

1等 ディズニーペアチケット（1組）

会員番号 701095

県南方部 松本 和子さん おめでとうございます！！



2等 お食事券2,000円分（5名）

会員番号 700924、700676、700623、700262、700568

3等 日帰り入浴券（5組）

会員番号 701009、701200、701061、700533、701289

4等 図書券1,000円分（5名）

会員番号 700964、700022、700827、701178、700710

5等 文具セット500円程度（10名）

会員番号 700565、700480、700951、701088、701146、700554、701295、700939、701153、701167
（文具セットの応募は1名でした。抽選から外れた全ての方から再抽選を行いました）

6等 ケア手帳2020（5名）

会員番号 700988、700673、701129、701018、700766

